

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

平成 22 年 8 月 25 日

理事長 間宮 忠敏

訪日外客数・出国日本人数 (2010年7月推計値、5月暫定値)

Visitor Arrivals and Japanese Overseas Travelers

◇7月：訪日外客数 / 前年同月比 38.9%増の 87 万 9 千人に……………P3

◇7月：出国日本人数 / 前年同月比 10.7%増の 141 万 3 千人に……………P4

2010年7月 推計値

頁/Page

- ◆総括表：2010年 訪日外客数・出国日本人数 …………… 1-2
2010 Visitor Arrivals and Japanese Overseas Travelers
- ◆解説：2010年7月 訪日外客数・出国日本人数 …………… 3-16

2010年5月 暫定値

- ◆数表：2010年5月 国・地域別/目的別 訪日外客数 (暫定値) …………… 17
Visitor Arrivals by Country/Area & Purpose of Visit for May 2010 (provisional)
- 2010年1月～5月 国・地域別/目的別 訪日外客数 (暫定値) …… 18
Visitor Arrivals by Country/Area & Purpose of Visit for Jan.- May 2010 (provisional)
- 2010年 年齢層 / 性別 出国日本人数 (暫定値) …………… 19
Japanese Overseas Travelers by Age and Gender for 2010 (provisional)
- 2005年～2009年 各国・地域別 日本人訪問者数 (受入国統計) …… 20
Japanese Overseas Travelers by Destination (Visitor Arrivals from Japan) 2005 – 2009

お問い合わせ先：企画部 調査研究グループ

TEL : 03-3216-1905



平成22年 訪日外客数・出国日本人数

2010 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO) 企画部

Corporate Planning Department, Japan National Tourism Organization
Tel: 03-3216-1905

平成22年8月25日

25/Aug/2010

(単位:人 / Unit: Persons)

月 Month	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	平成21年 2009	平成22年 2010	伸率 Change %	平成21年 2009	平成22年 2010	伸率 Change %
1 Jan.	580,673 (399,352)	640,346 (437,752)	10.3 (9.6)	1,172,539	1,264,299	7.8
2 Feb.	408,628 (256,117)	664,982 (514,106)	62.7 (100.7)	1,359,580	1,289,825	-5.1
3 Mar.	568,586 (371,017)	709,684 (484,298)	24.8 (30.5)	1,419,042	1,563,113	10.2
4 Apr.	626,313 (458,192)	788,212 (601,872)	25.8 (31.4)	1,201,614	1,212,959	0.9
5 May	485,713 (334,957)	721,348 (536,880)	48.5 (60.3)	1,036,356	1,262,453	21.8
6 June	424,427 (286,981)	* 678,000	* 59.7	947,928	* 1,313,000	* 38.5
1~6 Jan.-June	3,094,340 (2,106,616)	* 4,202,600	* 35.8	7,137,059	* 7,905,600	* 10.8
7 July	632,722 (483,541)	* 879,100	* 38.9	1,276,275	* 1,413,000	* 10.7
8 Aug.	679,586 (504,395)			1,516,588		
9 Sept.	535,544 (335,416)			1,590,607		
10 Oct.	655,481 (455,813)			1,364,447		
11 Nov.	565,089 (380,067)			1,279,318		
12 Dec.	626,896 (493,985)			1,281,390		
1~7 Jan.-July	3,727,062 (2,590,157)	* 5,081,700	* 36.3	8,413,334	* 9,319,000	* 10.8
1~12 Jan.-Dec.	6,789,658 (4,759,833)			15,445,684		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 平成21年1~12月は確定値、平成22年1~5月は暫定値、*部分はJNTOが独自に算出した推計値である。

◆注3: 訪日外客数(確定値・暫定値)は法務省資料を基にJNTOが算出し、出国日本人数(確定値・暫定値)は法務省資料を転記した数値である。

◆注4: 訪日外客(確定値)とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。

◆注5: ()内は、総数のうちの観光客数である。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Jan. - May 2010 are provisional, while * stands for the preliminary figures estimated by JNTO.

◆Note 3. Provisional and definitive figures for Visitor Arrivals are compiled by JNTO (source: Ministry of Justice), and provisional and definitive figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

◆Note 4. The figures in () represent the number of tourists among the total.

2010年7月 訪日外客数 (JNTO推計値)

Visitor Arrivals for July 2010 (Preliminary figures by JNTO)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2009年 7月	2010年 7月	伸率(%)	2009年 1月～7月	2010年 1月～7月	伸率(%)
総数	Grand Total	632,722	879,100	38.9	3,727,062	5,081,700	36.3
韓国	South Korea	170,240	236,100	38.7	850,722	1,405,700	65.2
台湾	Taiwan	115,734	152,900	32.1	570,108	775,400	36.0
中国	China	67,944	165,100	143.0	546,081	869,400	59.2
香港	Hong Kong	48,951	68,900	40.8	247,077	323,100	30.8
タイ	Thailand	9,631	14,200	47.4	101,990	126,200	23.7
シンガポール	Singapore	6,839	11,600	69.6	60,579	88,900	46.8
豪州	Australia	15,211	15,600	2.6	118,029	132,800	12.5
米国	U.S.A.	70,373	68,100	-3.2	409,502	436,200	6.5
カナダ	Canada	14,100	14,500	2.8	88,237	92,400	4.7
英国	United Kingdom	16,174	16,200	0.2	104,780	107,400	2.5
フランス	France	13,779	16,200	17.6	81,795	87,200	6.6
ドイツ	Germany	8,653	9,800	13.3	62,475	67,900	8.7
マレーシア	Malaysia	4,907	8,000	63.0	43,813	62,800	43.3
インド	India	4,889	5,400	10.5	33,625	39,800	18.4
ロシア	Russia	4,327	4,900	13.2	26,637	29,000	8.9
その他	Others	60,970	71,600	17.4	381,612	437,500	14.6

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2009年の数値は確定値、2010年の数値はJNTOが独自に算出した推計値である。

◆注3：訪日外客(確定値)とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. Above figures for 2010 stands for the preliminary ones estimated by JNTO.

【訪日外客数】

7月は、前年同月比38.9%増の87万9千人
～ 9か月連続の増加 ～

2010年7月： 879,100人（前年同月比38.9%増、246,400人増）

2010年1～7月： 5,081,700人（前年同期比36.3%増、1,354,600人増）

7月の訪日外客数は、前年同月比38.9%増の87万9千人であった。7月単月で過去最高を記録した。7月の訪日外客数を年別にさかのぼると、これまで過去最高であった2008年7月（825,012人）と比べ、本年7月は約5万4千人増加した。なお、訪日外客数は昨年11月以降、前年同月比9か月連続で増加している。

昨年7月は円高、景気低迷、新型インフルエンザ感染拡大などの影響で、訪日外客数が23.3%減と大きく落ち込んだが、本年7月にはその反動が生じ増加幅が拡大した。

主要15市場のうち、7月は米国を除く市場で前年同月を上回った。中国、香港、タイ、シンガポール、フランス、マレーシアは7月としては過去最高を記録した。

【要因】 前年からの回復に加え、訪日旅行の広告宣伝効果、景気回復、中国における訪日個人観光査証の発給条件の緩和措置などが訪日外客増に寄与

- 7月のプラス要因は、広告宣伝の効果（韓国、台湾、中国、香港、豪州、米国、カナダ、英国、フランス、ドイツなど）、訪日旅行番組の放映効果（タイ）、民間企業による訪日懸賞旅行の実施（タイ）、訪日個人観光査証の発給条件の緩和措置（中国）、好景気・経済状況の好転（韓国、台湾、中国、香港、タイ、シンガポール、カナダ、ドイツなど）、航空便・航空座席数の増加・回復（韓国、香港、カナダ、ドイツなど）、チャーター便の運航（韓国、中国など）、旅行ガイドブック発行の効果（シンガポール）、北海道旅行の需要増（シンガポール）、家族・学生旅行の需要増（台湾）、教育旅行の需要増（中国）、クルーズ船需要増（中国）、アイスランド火山噴火による旅行需要の移動（フランス、ドイツ）などが挙げられる。
- 一方、7月のマイナス要因は、急激な円高（英国、フランス、ドイツ）、航空便・航空座席数の減少・不足（タイ、シンガポール、英国、フランスなど）、航空運賃の高騰（米国）、燃油サーチャージ・航空運賃値上げの影響（シンガポールなど）、航空座席の割り当ての減少（シンガポール）、日本経由需要の減少（カナダ）、格安航空券の流通量の減少（カナダ）などが挙げられる。

【出国日本人数】

7月は、前年同月比 10.7%増の 141 万 3 千人 ～ 5 か月連続の増加 ～

2010年7月： 1,413,000人（前年同月比 10.7%増、137,000人増）

2010年1～7月： 9,319,000人（前年同期比 10.8%増、906,000人増）

7月の出国日本人数は、前年同月比 10.7%増の 141 万 3 千人であった。本年 3 月以降、前年同月比 5 か月連続で増加している。

昨年 7 月は新型インフルエンザ感染拡大などの影響で、出国日本人数が前年同月比 4.2%減少したが、本年 7 月にはその反動が生じた。

出国日本人数は 7 月として過去最高を記録した 2001 年（1,596,737 人）を 184,000 人ほど下回った。

注： 7 月の出国日本人数（年別で多い順、2010 年は第 13 位）

2001 年：1,596,737 人、2000 年：1,583,129 人、1997 年：1,512,137 人、1999 年：1,473,633 人、
1996 年：1,470,207 人、2004 年：1,468,142 人、1998 年：1,459,841 人、2006 年：1,448,126 人、
1995 年：1,425,630 人、2005 年：1,422,240 人、2002 年：1,420,406 人、2007 年：1,413,231 人、
2010 年：1,413,000 人

【要因】 前年からの回復に加え、上海万博の開催、2010 FIFA ワールドカップの開催、ユーロ等に対する円高傾向などが、海外旅行需要にプラスに作用

- 7 月のプラス要因は、上海万博の開催（5 月 1 日～10 月 31 日）、2010 FIFA ワールドカップの開催（6 月 11 日～7 月 11 日）、ユーロ等に対する円高傾向などが挙げられる。
- 一方、パキスタン各地での爆弾テロ事件発生、イエメンでの治安悪化、反政府デモ隊のバンコク中心部占拠・暴徒化（4 月初旬～5 月 21 日）、キルギスの政情不安（4 月 6 日～5 月中旬）及びキルギス南部の民族衝突（6 月 10 日～6 月下旬）、ギリシャでの大規模デモ発生及び一部デモ隊の暴徒化（5 月上旬）、中国南部の豪雨・洪水被害（6 月 13 日～6 月下旬）、ロシアでの猛暑及び森林火災の多発（6 月～8 月）、ウガンダのカンパラでの爆弾テロ事件（7 月 11 日）、スイスの観光列車脱線事故（7 月 23 日）、パキスタン北部の洪水被害（7 月下旬～8 月上旬）などは局地的な阻害要因となった。

【市場別 訪日外客数（推計値）】

◆韓国

前年からの回復に加え、訪日旅行の宣伝効果、景気の回復、航空座席供給量の増加などが影響し、訪日客が4割増増加

7月： 236,100人（前年同月比38.7%増、65,900人増）

1～7月： 1,405,700人（前年同期比65.2%増、555,000人増）

訪日客は前年同月比38.7%増と大幅な伸びを示した。月別では昨年11月以降、9か月連続の前年同月比増となった。昨年7月の時点では、円高、景気低迷、新型インフルエンザ感染拡大などの影響で、訪日客の落ち込みが28.5%減と大きかったが、訪日旅行が回復基調に入っていることから、本年7月には反動が生じ増加幅が拡大した。

参考： 7月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第3位）
2007年：254,234人、2008年：237,947人、2010年：236,100人

参考： 1月～7月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第3位）
2008年：1,560,396人、2007年：1,477,913人、2010年：1,405,700人

[要因]

- ビジット・ジャパン事業の一環として、本年6月から7月にかけて、テレビ、検索サイト、映画館、雑誌などを通じて、訪日旅行を宣伝するための広告を展開した。また、旅行会社の訪日旅行商品を支援するための共同広告も展開した。これにより、訪日旅行需要が喚起されたと考えられる。

注： 旅行会社との共同広告は、格安航空会社利用商品、クルーズ商品、新規開発商品などの需要を拡大するために展開された。

- 景気の回復が顕著になっており、失業率も4か月連続で3%台に収まっている。小売販売額も増加を続けており、外国旅行の需要拡大にも好影響を与えている。

注： 韓国銀行によると、2010年第2四半期のGDPは、前年同期比7.2%増となった。また、2010年上半年期では、前年同期比7.6%増となった。（2009年第1四半期：4.3%減、第2四半期：2.2%減、第3四半期：1.0%増、第4四半期：6.0%増、2010年第1四半期：8.1%増）
韓国銀行は、2010年年間のGDPを、本年4月時点の5.2%から本年7月時点の5.9%へと上方修正した。

注： 韓国統計庁によると、失業率は4か月連続で3%台が続いている。（2010年1月：5.0%、2月：4.9%、3月：4.1%、4月：3.8%、5月：3.2%、6月：3.5%、7月：3.7%）

注： 韓国統計庁によると、2010年6月の小売販売額は、前年同月比6.4%増の22兆3,712億ウォン（1兆6,330億円）となった。前年同月比14か月連続の増加を示した。

- 本年3月以降、日韓間の航空便（格安航空会社を含む韓国系航空会社の定期便、及びチャーター便）が急速に増加している。

注： 日韓間の航空便の拡大

茨城⇄ソウル（仁川） 2010年3月11日、週7便で新規就航（アジアナ航空）
青森⇄ソウル（仁川） 2010年3月28日以降、週3便から週4便に増便（大韓航空）
中部⇄ソウル（金浦） 2010年3月28日、週7便で新規就航（済州航空）
中部⇄済州 2010年3月28日以降、週3便から週5便に増便（大韓航空）
関西⇄済州 2010年3月28日以降、週6便から週7便に増便（大韓航空）
福岡⇄釜山 2010年3月29日、週7便で新規就航（エア釜山）
羽田⇄釜山 2010年4月16日から10月25日まで、週1便の深夜チャーター便を運航（大韓航空）
関西⇄釜山 2010年4月26日、週7便で新規就航（エア釜山）
羽田⇄釜山 2010年5月7日から10月22日まで、週1便の深夜チャーター便を運航（アジアナ航空）
対馬⇄釜山 2010年5月7日、週4便で新規就航（コリアエクスプレスエア）

関西⇄務安 2010年5月8日から5月30日まで、週3便のチャーター便を運航（ジンエアー）
 福島⇄ソウル（仁川） 2010年6月4日から10月29日まで、週2便のチャーター便を運航（イースター航空）
 関西⇄済州 2010年6月21日から7月17日まで、及び8月9日から8月30日まで、週3便のチャーター便を運航し、9月以降、定期便化を予定（ジンエアー）
 旭川⇄ソウル（仁川） 2010年7月1日から8月23日まで、チャーター便計29便を運航（アジアナ航空）
 成田⇄釜山 2010年7月6日から8月1日まで、週3便の深夜チャーター便計を運航（エア釜山）
 新千歳⇄ソウル（仁川） 2010年7月19日から8月23日まで、チャーター便計41便を運航（大韓航空）
 釧路⇄ソウル（仁川） 2010年7月21日から8月22日まで、チャーター便計9便を運航（大韓航空）
 旭川⇄ソウル（仁川） 2010年7月21日から8月13日まで、チャーター便計7便を運航（イースター航空）
 関西⇄ソウル（仁川） 2010年7月24日から8月20日まで、チャーター便計10便を運航（ジンエアー）
 那覇⇄ソウル（仁川） 2010年7月29日から8月4日まで、チャーター便計3便を運航（アジアナ航空）

注： 日韓間の航路の拡大
 門司⇄釜山 2010年5月17日以降、週6便で新規就航（グランドフェリー）

注： 日韓間の航空便の縮小
 北九州⇄ソウル（仁川） 2010年1月11日以降、週4便から週3便に減便（済州航空）
 関西⇄釜山 2010年1月12日以降、週7便を運休（日本航空）
 大分⇄ソウル（仁川） 2010年3月28日以降、週3便から週2便に減便（大韓航空）
 長崎⇄ソウル（仁川） 2010年3月28日以降、週3便から週2便に減便（大韓航空）

◆台湾

前年からの回復に加え、景気の回復、家族・学生旅行の需要増、訪日旅行の宣伝効果などにより、訪日客が3割強増加

7月： 152,900人（前年同月比32.1%増、37,200人増）
 1～7月： 775,400人（前年同期比36.0%増、205,300人増）

訪日客は前年同月比32.1%増と大幅な伸びを示した。月別では6か月連続の前年同月比増となった。昨年7月の時点では、円高、景気低迷、新型インフルエンザ感染拡大による航空便の減便措置などの影響で、訪日客の落ち込みが25.4%減と大きかったが、訪日旅行が回復基調に入っていることから、本年7月には反動が生じ増加幅が拡大した。なお、7月単月、1月～7月累計とも、台湾は中国（大陸）の大幅増に押されて、市場別で第3位となっている。

参考： 7月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第3位）
 2008年：155,231人、2005年：153,393人、2010年：152,900人

参考： 1月～7月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第4位）
 2008年：877,854人、2007年：816,928人、2006年：792,816人、2010年：775,400人

[要因]

- 景気が回復基調にあり、外国旅行需要にもプラスに働いている。
- 注： 台湾經濟部によると、2010年6月の工業生産指数は前年同月比24.3%増となった。また、2010年6月の製造業生産指数は前年同月比26.2%増となった。
- 学校の夏休みに合わせた日本への家族旅行と学生旅行の需要が、昨年よりも増加した。
 - ビジット・ジャパン事業の一環として、本年6月から7月にかけて、テレビ、新聞、バス車体、屋外広告などを通じて、訪日旅行を宣伝するための広告を展開した。これにより、訪日旅行需要が喚起されたと考えられる。
 - 本年3月以降、日台間の航空便の一部で増便、機材の大型化があったが、本年の航空座席供給量は昨年よりも依然少ない状態にある。訪日旅行の需要回復により座席占有率が上昇しているため、特に団体客用の座席確保が難しくなっている。

いる。また、中台直行便の拡大に伴い、昨年日台間でチャーター便として運航されていた航空機材の一部が、本年は中国大陸へ振り向けられており、日本へのチャーター便の機材繰りが昨年よりも難しくなっている。

注： 日台間の航空便の拡大

関西⇄台北 2010年3月28日以降、機材を大型化（中華航空）
那覇⇄台北 2010年3月28日以降、週11便から週14便に回復（中華航空）
成田⇄台北 2010年5月から7月中旬まで、不定期で機材を大型化（日本航空）
中部⇄台北 2010年5月8日以降、週9便から週10便に増便（中華航空）
福岡⇄台北 2010年6月17日から8月25日まで、週4便から週7便に増便（エバー航空）
新千歳⇄台北 2010年6月18日から8月29日まで、機材を大型化（エバー航空）
関西⇄台北⇄シンガポール 2010年7月5日、週7便で新規就航（ジェットスター航空）

注： 日台間のチャーター便数（台湾交通部民用航空局発表の数値を基に算出）

2009年1月～6月 920便（乗客数は11万2,759人）
2010年1月～6月 843便（乗客数は10万6,904人）

注： 2010年は2009年に比べて、日台間の上半期の定期便航空座席数が合計で約15万8千席減少した。

◆中国

前年からの回復に加え、訪日旅行の宣伝効果、個人観光旅行の需要増、教育旅行の需要増、好景気、クルーズ船需要増などにより、訪日客が過去最高を記録

7月： 165,100人（前年同月比143.0%増、97,200人増）

1～7月： 869,400人（前年同期比59.2%増、323,300人増）

訪日客は7月単月、1月～7月累計とも過去最高を記録した。7月の訪日客数を年別にさかのぼると、これまで過去最高であった2007年7月（101,370人）と比べ、本年7月は一挙に6万4千人近く増加した。昨年7月の時点では、新型インフルエンザ感染拡大などの影響により、訪日客の落ち込みが32.9%減と大きかったが、本年はこのマイナス要因が解消されていることから、7月には反動が生じ増加幅が拡大した。なお、7月単月、1月～7月累計とも、中国（大陸）は台湾を上回り、市場別で第2位となっている。

[要因]

- ビジット・ジャパン事業の一環として、本年6月から7月にかけて、テレビ、新聞、雑誌、検索サイト、地下鉄構内、ビル構内などを通じて、訪日旅行を宣伝するための広告を大々的に展開した。これにより、訪日旅行需要が喚起されたと考えられる。
- 本年7月1日以降、訪日個人観光査証の発給条件が緩和されたことにより、個人旅行ができる層が拡大した。

注： 外務省によると、訪日個人観光査証の取得容易化措置は以下のとおりである。

- ①「十分な経済力を有する者」から「一定の職業上の地位及び経済力を有する者」へ、査証発給条件を緩和
- ②査証申請を受け付ける公館の拡大（北京、上海、広州 → 瀋陽、大連、青島、重慶を含む全7公館）
- ③査証申請取り扱い旅行会社の拡大（48社 → 290社）

- 本年7月には、訪日教育旅行の需要が高まった。

注： 外務省によると、2010年7月の訪日教育旅行者数は、2009年7月に比べて1万人ほど多い約1万2千人を記録した。

- 中国政府が進める景気刺激策の効果もあり、経済は好調に推移しており、消費意欲も比較的旺盛である。

注： 中国国家统计局によると、2010年第2四半期の実質GDPは前年同期比10.3%増、2010年上半期の実質GDPは同11.1%となった。

注： 中国国家统计局によると、2010年7月の社会消費財小売総額は前年同月比17.9%増となった。

- 7月の日本へのクルーズ船寄港状況を見ると、昨年はクルーズ船需要がなかったが、本年は14便寄港した。本年7月のクルーズ船客数はおよそ2万人あったとみられる。

注： 本年7月は、「コスタ・ロマンチカ号」が5回、「コスタ・クラシカ号」が4回、「レジェンド・オブ・ザ・シーズ号」が5回日本に寄港した。いずれの便も、上海または天津を発着し、九州（福岡、鹿児島、長崎のいずれか）と韓国（釜山、済州島のいずれか）に寄港した。

- 昨年7月に新型インフルエンザの影響で運航されなかった日本への航空チャーター便が、本年7月には複数運航された。
- 本年3月以降、日中間の航空便で拡大と縮小があった。航空便の縮小や機材の小型化があった路線では、旅行需要の拡大に伴い、一部で航空座席の確保が困難な状況が見られた。航空座席の不足に伴い、一部で航空運賃が値上がっており、訪日ツアー価格も上昇傾向にある。なお、日本人の上海万博見学の需要拡大に伴い、上海路線で座席が確保しにくい状況も起こっている。

注： 日中間の航空便の拡大

新千歳⇄上海 2010年3月28日以降、週3便から週4便に増便（中国東方航空）

成田⇄上海 2010年3月28日以降、週14便から週21便に増便（全日空）

成田⇄深圳 2010年3月28日以降、航空機材を大型化（中国南方航空）

静岡⇄上海 2010年3月28日以降、週2便から週4便に増便（中国東方航空）

中部⇄成都 2010年3月28日、週7便で新規就航（中国国際航空）

関西⇄深圳 2010年3月28日以降、航空機材を大型化（中国南方航空）

福岡⇄広州 2010年3月28日以降、週2便から週3便に増便（中国南方航空）

新千歳⇄北京 2010年7月4日以降、週2便から週4便に増便（中国国際航空）

旭川⇄上海 2010年7月9日以降、週2便で定期チャーター便（座席数150席）を運航（中国東方航空）

茨城⇄上海 2010年7月28日以降、週3便で定期チャーター便（座席数180席）を運航（春秋航空）

注： 日中間の航空便の縮小

成田⇄広州 2010年3月28日以降、航空機材を小型化（全日空）

中部⇄重慶 2010年3月28日以降、週7便を運休（中国国際航空）

関西⇄青島 2010年3月28日以降、週7便から週4便に減便（全日空）

関西⇄アモイ 2010年3月28日以降、週4便を運休（全日空）

関西⇄広州 2010年3月28日以降、航空機材を小型化（中国南方航空）

- 一方、中台直行便の就航を機に訪日ツアーの選択肢が増加し、価格も低廉化している。中台双方が中国人の台湾旅行を促進していることもあり、旅行先として台湾が定着している。

注： 2009年8月31日以降、中台間の航空便がこれまでの定期チャーター便から正式に定期便化し、運航便数も週108便から270便へと倍増した。また、2010年6月以降、航空便が更に段階的に増便されている。

注： 2010年5月には、観光宣伝事務所が中台間で相互に設置された。

注： 2010年7月18日には、中国の全ての省・直轄市・自治区の住民の台湾旅行が可能になった。

◆香港

前年からの回復に加え、訪日旅行の宣伝効果、景気的好転、航空便の拡大などにより、訪日客が過去最高を記録

7月： 68,900人（前年同月比40.8%増、19,900人増）

1～7月： 323,100人（前年同期比30.8%増、76,000人増）

訪日客は7月単月で過去最高を記録した。月別では6か月連続の前年同月比増となった。訪日客は、これまで7月として過去最高を記録していた2008年(66,038人)を2,900人ほど上回った。昨年7月の時点では、円高、景気低迷、新型インフルエンザ感染拡大などの影響で、訪日客の落ち込みが25.9%減と大きかったが、訪日旅行が回復基調に入っていることから、本年7月には反動が生じ増加幅が拡大した。

参考： 1月～7月の訪日客数(年別で多い順、2010年は第2位)
2008年：333,079人、2010年：323,100人

[要因]

- ビジット・ジャパン事業の一環として、本年6月から7月にかけて、新聞、雑誌、地下鉄・路面電車などを通じて、訪日旅行を宣伝するための広告を展開した。これにより、訪日旅行需要が喚起されたと考えられる。

- 景気が回復基調にあり、外国旅行需要にもプラスに働いている。

注： 香港政府統計処によると、2010年第2四半期の実質GDPは前年同期比6.5%増で、2009年第4四半期(同2.5%増)、2010年第1四半期(同8.0%増)に続きプラス成長を記録した。

注： 香港政府統計処によると、2010年5月～7月の失業率は4.3%(暫定値、季節調整済み)で、前年同期比1.1ポイント減となった。2010年1月以降で最も低い値を記録した。

- 日香間、日・マカオ間の航空便が本年3月以降拡充された。特に沖縄への旅行需要増が航空便の増加を後押ししている。

注： 日香間、日・マカオ間の航空便の拡大

新千歳⇄香港 2010年3月28日以降、週2便から週4便に増便(香港エクスプレス航空)

成田⇄マカオ 2010年3月28日、週3便で新規就航(マカオ航空)

→香港から訪日旅行をする際、マカオ経由便も利用されている。

那覇⇄香港 2010年5月1日から10月30日まで、週7便で定期チャーター便を運航(香港エクスプレス航空)

那覇⇄香港 2010年5月1日から10月31日まで、週2便で定期チャーター便を運航(香港ドラゴン航空)

◆タイ

前年からの回復に加え、景気の好転、企業の日本懸賞旅行付き販促キャンペーンの実施、訪日旅行番組の放映などがプラスに働き、訪日客が過去最高を記録

7月： 14,200人(前年同月比47.4%増、4,600人増)

1～7月： 126,200人(前年同期比23.7%増、24,200人増)

訪日客は7月単月、1月～7月累計とも過去最高を記録した。月別では5か月連続の前年同月比増となった。訪日客は、これまで7月として過去最高を記録していた2008年(12,124人)を2,100人ほど上回った。昨年7月の時点では、景気低迷、新型インフルエンザ感染拡大などの影響で、訪日客の落ち込みが20.6%減と大きかったが、訪日旅行が回復基調に入っていることから、本年7月には反動が生じ増加幅が拡大した。

[要因]

- 輸出と民間投資の拡大により景気が好転している。消費の伸びと共に外国旅行需要も高まっている。

注： タイ財務省によると、2010年6月の輸出額は前年同月比46.3%増の180億米ドルとなり、過去23か月で最高を記録した。

注： タイ中央銀行によると、2010年6月の民間消費指数は前年同月比8.3%増、民間投資指数は同21.2%増を記録し

た。

注： タイ中央銀行によると、2010年第1四半期のGDPは前年同期比12.0%増を記録した。また、タイ財務省によると、第2四半期のGDPは前年同期比5.5%増になると見込んでいる。

- 日系企業などが、日本への懸賞旅行が当たる販促キャンペーンを、本年2月以降展開している。これにより、タイ人の間で訪日旅行需要が創出された。

注： 日系企業の花王などが同販促キャンペーンを展開しており、テレビ、新聞、雑誌、高架鉄道駅構内・車内、店頭などを通じて宣伝している。

- 訪日旅行番組が複数、継続して放映されており、訪日旅行の需要が喚起されている。

注： 「Say Hi」：チャンネル3で隔週月曜日の深夜に放映。

注： 「Holiday Japan」：チャンネル5で祝日の昼に放映。

- 3月から5月にかけてバンコクで反政府デモが繰り広げられたが、この期間中、日本人の訪タイ旅行需要は縮小した。7月になっても同需要の回復が遅れている。その一方で、タイ人にとっては航空座席の確保が容易になり、一部でこれを穴埋めする訪日旅行需要があった。

- 一方、日本人の訪タイ旅行需要の縮小により、本年6月から7月にかけて、日タイ間の航空便数が減少した。

注： 日タイ間の航空便の縮小

中部⇄バンコク 2010年6月1日から7月15日まで、週7便から週4便に減便（日本航空）

関西⇄バンコク 2010年6月1日から7月15日まで、週7便から週4便に減便（日本航空）

◆シンガポール

前年からの回復に加え、景気の好転、北海道旅行需要の拡大、旅行ガイドブック発行効果などにより、訪日客が過去最高を記録

7月： 11,600人（前年同月比69.6%増、4,800人増）

1～7月： 88,900人（前年同期比46.8%増、28,300人増）

訪日客は7月単月、1月～7月累計とも過去最高を記録した。月別では6か月連続の前年同月比増となった。訪日客は、これまで7月として過去最高を記録していた2008年（10,391人）を1,200人ほど上回った。昨年7月の時点では、円高、景気低迷、新型インフルエンザ感染拡大などの影響で、訪日客の落ち込みが34.2%減と大きかったが、訪日旅行が回復基調に入っていることから、本年7月には反動が生じ増加幅が拡大した。

[要因]

- 景気の顕著な回復に伴い、外国旅行の需要が拡大している。昨年低迷していた訪日商用旅行の需要も増加傾向にある。

注： シンガポール通産省によると、2010年第2四半期のGDPは前年同期比18.8%増となった。1976年以降では過去最高の伸びを記録した。

注： シンガポール経済開発庁によると、2010年6月の製造業生産高指数（2007年=100、速報値）は前年同月比26.1%増の115.5となった。2009年12月以降、前年同月比で7か月連続の二桁成長を続けている。

- 7月の訪日旅行は例年、閑散期に当たるが、本年7月はラベンダー観賞などを目的とした北海道ツアーが人気を博しており、訪日旅行の需要拡大に拍車をかけて

いる。

- 「YOKOSO! JAPAN 大使」でシンガポール人のジョージ・リム氏が、本年3月にシンガポールで、個人旅行者を対象とした旅行ガイドブック「DIY JAPAN Travel Guidebook」を発行した。これにより、訪日個人旅行の需要が喚起された。
- 一方、本年4月以降の燃油サーチャージの値上げに加え、航空運賃自体も値上がり傾向にあることが、マイナスに作用している。

注： 本年4月以降、燃油サーチャージが日系航空会社、米系航空会社で往復9千円、シンガポール系航空会社で往復1万5千円加算されている。航空運賃の総額の15%~20%を燃油サーチャージが占めている。

- 日本⇄シンガポール間の航空座席供給量が減少傾向にあるのに加え、シンガポールでのカジノやテーマパークの開業も影響して、日本発シンガポール行きの航空需要が拡大している。これにより、シンガポール発券分の座席の割り当てが減少しており、予約が取りづらい状況が続いている。

注： 日本⇄シンガポール間の航空座席供給量の減少

成田⇄バンコク⇄シンガポール 2009年8月2日以降、週5便を運休（シンガポール航空）

成田⇄シンガポール 2009年10月25日以降、航空機材を小型化した。月間で約3千席の減少となる。（日本航空）

関西⇄シンガポール 2010年1月17日以降、週7便を運休。月間で約7千席の減少となる。（日本航空）

◆豪州

訪日旅行の宣伝効果により、訪日客が増加

7月： 15,600人（前年同月比2.6%増、400人増）

1~7月： 132,800人（前年同期比12.5%増、14,800人増）

訪日客は前年同月比2.6%増加した。月別では6か月連続の前年同月比増となった。但し、訪日客は7月として過去最高を記録した2008年（20,652人）を5,100人ほど下回っている。

参考： 7月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第7位）

2008年：20,652人、2005年：19,254人、2004年：18,402人、2003年：18,013人、2007年：17,851人、
2006年：15,713人、2010年：15,600人

参考： 1月~7月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第2位）

2008年：146,463人、2010年：132,800人

[要因]

- ビジット・ジャパン・キャンペーンの一環として、昨年11月後半から本年3月末にかけて、テレビ広告や検索サイトのバナー広告などを行うとともに、本年3月以降は、旅行博などにおける宣伝や、新聞、雑誌での記事掲載などを通じて、訪日旅行の誘致活動を展開した。これにより訪日旅行需要が喚起されたと考えられる。
- 本年4月以降、日豪間の航空便が拡大したが、本年の航空座席供給量は昨年よりも依然少ない状態にある。また、一部の航空会社で期間限定の割安航空運賃を設定し、訪日旅行需要が喚起されたが、日本以外の路線でも割引競争が起こっており、旅行地間の誘致競争が過熱している。

注： 日豪間の航空便の拡大

関西⇄ケアンズ 2008年12月に運休したが、2010年4月1日以降、週4便で再開（ジェットスター航空）

成田⇄シドニー 2010年7月5日以降、航空機材を大型化（カンタス航空）

注： ジェットスター航空では時期を異にして多様な割安航空運賃を設定している。本年6月に設定された割安航空運賃は、一例として「Jetstar's 2 for 1（1人分の料金が2人旅）」が挙げられる。2010年3月25日から3月31日までの間、成田⇄ゴールドコースト便、成田⇄ケアンズ便、関西⇄ゴールドコースト便、関西⇄ケアンズ便の運賃が、通常価格の約半額で設定され、販売された。搭乗期間は2010年4月14日から9月30日（特定期間を除く）までである。

◆米国

航空運賃の値上がりや航空座席占有率の上昇などにより、訪日客が減少

7月： 68,100人（前年同月比3.2%減、2,300人減）
1～7月： 436,200人（前年同期比6.5%増、26,700人増）

訪日客は前年同月比3.2%減少した。月別では9か月ぶりの前年同月比減となった。主要15市場の中では唯一、7月の訪日客数が前年同月と比べて減少した。訪日客は7月として過去最高を記録した2005年（78,619人）を10,500人ほど下回っている。

参考： 7月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第10位）

2005年：78,619人、2006年：77,174人、2007年：76,444人、2008年：72,992人、2004年：71,242人、
2002年：71,087人、2009年：70,373人、2000年：69,714人、2001年：68,114人、2010年：68,100人

参考： 1月～7月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第8位）

2005年：502,118人、2006年：487,765人、2007年：479,664人、2008年：474,333人、2004年：455,678人、
2002年：441,552人、2001年：440,376人、2010年：436,200人

[要因]

- 昨年、日米間の航空需要が縮小し航空運賃が下がったが、本年7月には円高の影響もあり、日本人の訪米旅行需要が回復基調に転じた。この影響及び燃油サーチャージの復活により、航空運賃が高騰した。

注： 2009年7月と2010年7月の往復航空運賃（米国での発券価格、燃油サーチャージを含む）

ニューヨーク⇄成田 2009年1,000米ドル台 → 2010年1,500米ドル前後
ロサンゼルス⇄成田 2009年800米ドル台 → 2010年1,300米ドル前後

注： 日米路線の燃油サーチャージは、昨年7月から9月まで、日系航空会社、米系航空会社を問わず付加されていなかったが、その後燃油サーチャージが復活し、本年は7月時点で、運航都市を問わず、日系航空会社が222米ドル、米系航空会社が218米ドル付加されている。

- 日米間の航空便が本年6月に拡大したが、日本人の訪米旅行需要が回復基調にあることなどから座席占有率が高まり、米国人にとって航空座席の確保が難しくなっている。

注： 日米間の航空便の拡大、航空座席数の増加

成田⇄ソルトレイクシティ 2009年10月4日以降、週4便を運休していたが、2010年5月14日以降、週5便で運航を再開（デルタ航空）
関西⇄サンフランシスコ 2009年10月25日から2010年3月27日まで、週7便から週5便に減便していたが、2010年3月28日以降、週7便に回復（ユナイテッド航空）
成田⇄ニューヨーク 2010年6月1日以降、航空機材を大型化（デルタ航空）
関西⇄シアトル 2010年6月7日、週7便で新規就航（デルタ航空）

注： 日米間の航空便の縮小、航空座席数の減少

成田⇄ニューヨーク 2010年4月19日以降、航空機材を小型化（全日空）

- 一方、ビジット・ジャパン・キャンペーンの一環として、昨年10月から本年2月にかけて、新聞、旅行雑誌、検索サイトなどを通じ、訪日旅行に関する広告を行った。これにより、訪日旅行需要が下支えされたと考えられる。

◆カナダ

好景気、訪日旅行の宣伝効果、航空便の増便などにより、訪日客が増加

7月： 14,500人（前年同月比2.8%増、400人増）

1～7月： 92,400人（前年同期比4.7%増、4,200人増）

訪日客は前年同月比2.8%増加した。月別では2か月ぶりの前年同月比増となった。但し、訪日客は7月として過去最高を記録した2008年（15,716人）を1,200人ほど下回っている。

参考： 7月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第4位）

2008年：15,716人、2007年：14,978人、2006年：14,714人、2010年：14,500人

参考： 1月～7月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第3位）

2008年：102,137人、2007年：94,019人、2010年：92,400人

[要因]

- カナダ経済は回復基調にある。実質所得が増加しており、外国旅行需要にもプラスに作用している。

注： カナダ統計局によると、2010年第1四半期の実質GDPは、前年同期比6.1%増を記録した。

注： カナダ統計局によると、2010年5月の平均週給は前年同月比3.7%増で、20か月連続の実質増収となった。

- ビジット・ジャパン・キャンペーンの一環として、昨年10月から本年3月にかけて、ケーブルテレビ、新聞、検索サイトなどを通して、官民合同で広告などを展開した。これにより、訪日旅行需要が底上げされたと考えられる。
- 本年3月に日加間で新規航空便が就航した。これにより、訪日旅行需要が掘り起こされている。

注： 日加間の航空便の拡大

成田⇄カルガリー 2010年3月28日、週3便で新規就航（エア・カナダ）

- 一方、日系航空会社が昨年の冬期スケジュール（2009年10月25日）以降、成田を経由してアジア主要都市へ向かう接続便を減らしたため、アジア系（インド系、中国系など）のカナダ人の日本経由需要が全般的に減少している。
- 航空会社の収益性重視の方針から、カナダで格安航空券の流通量が減少し、本年7月の訪日旅行需要にマイナスの影響を与えた。

◆英国

円高、航空便減便による逆境の中、訪日旅行の宣伝効果により、訪日客は昨年水準を維持

7月： 16,200人（前年同月比0.2%増、30人増）

1～7月： 107,400人（前年同期比2.5%増、2,600人増）

訪日客は前年同月比0.2%増加した。月別では3か月連続の前年同月比増となった。但し、訪日客は7月として過去最高を記録した2007年（20,672人）を4,500人ほど下回っている。

参考： 7月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第12位）

2007年：20,672人、2005年：19,663人、2001年：19,629人、2004年：19,338人、2003年：18,779人、
2000年：18,733人、2006年：18,731人、2008年：18,618人、2002年：18,239人、1999年：17,033人、
1998年：16,754人、2010年：16,200人

参考： 1月～7月の訪日客数（年別で多い順、2010年は第10位）

2002年：135,356人、2005年：129,575人、2007年：127,117人、2004年：126,820人、2006年：123,875人、
2008年：122,256人、2001年：119,904人、2003年：115,871人、2000年：112,880人、2010年：107,400人

[要因]

- 本年1月から2月にかけて、ビジット・ジャパン・キャンペーン特設サイトを通じて、訪日旅行商品などが当たる懸賞を実施した。また、2月から3月にかけて、フィンランド航空と共同で、地下鉄駅構内、新聞、雑誌を通して広告を展開した。これにより、訪日旅行需要が喚起されたと考えられる。
- 一方、5月に円高英ポンド安が急進し、6月、7月にも円の高止まりが継続した。7月の月間平均レートは1英ポンド=133.9円で、4月と比べて9.4円高、前年同月（2009年7月）と比べて20.8円高であった。消費者が旅行地として日本を選択する上で不利な状況となっている。
- 日英間の航空座席供給量が昨年12月に縮小した。日によっては座席の確保が困難な状況になっている。

注： 日英間の航空座席供給量の縮小

成田⇄ロンドン 2009年12月7日以降、週14便から週7便に減便（日本航空）

◆フランス

訪日旅行の宣伝効果と、アイスランド火山噴火による旅行需要の移動などが影響し、訪日客が過去最高を記録

7月： 16,200人（前年同月比17.6%増、2,400人増）

1～7月： 87,200人（前年同期比6.6%増、5,400人増）

訪日客は7月単月、1月～7月累計とも過去最高を記録した。月別では3か月連続の前年同月比増となった。訪日客は、これまで7月として過去最高を記録していた2008年（14,616人）を1,600人ほど上回った。

[要因]

- ビジット・ジャパン・キャンペーンの一環として、昨年11月から本年2月に、JNTO フランス語版ウェブサイトのグルメ欄を通じて訪日旅行の懸賞付きアンケート・キャンペーンを実施した。また、これに併せて、新聞、雑誌、マスコミ等のウェブサイトを通じて広告を展開した。本キャンペーン期間中の応募者数は約1万5千人に上り、訪日旅行への関心も高まった。

注： マスコミ等のウェブサイトを通じた広告

ルモンド、フィガロ、Evene、レクスプレスなどのマスコミ、ロンリープラネットなどの旅行サイトにバナー広告を掲載した。

- 本年4月のアイスランド火山噴火の影響で、当時訪日旅行を取り消し、予定を変更した人々の需要の一部が7月にあった。
- 一方、ギリシャが財政危機に陥った影響で、5月に円高ユーロ安が急進し、6月、7月にも円の高止まりが継続した。7月の月間平均レートは1ユーロ=111.8円で、4月と比べて13.8円高、前年同月（2009年7月）と比べて21.2円高を記録した。

消費者が旅行地として日本を選択する上で不利な状況となっている。

- 昨年 10 月に日仏航空路線で、日系航空会社による減便措置が取られた。

注： 日仏間の航空便の縮小

中部⇄パリ 2009 年 10 月 25 日以降、週 7 便を運休（日本航空）

◆ドイツ

日独間の航空座席供給量の増加、景気の好転、訪日旅行の宣伝、アイスランド火山噴火による旅行需要の移動などにより、訪日客が 1 割強増加

7 月： 9,800 人（前年同月比 13.3%増、1,100 人増）

1～7 月： 67,900 人（前年同期比 8.7%増、5,400 人増）

訪日客は前年同月比 13.3%増加した。月別では 3 か月連続の前年同月比増となった。昨年 7 月の時点では、円高、景気低迷などの影響で、訪日客の落ち込みが 14.0%減と大きかったが、訪日旅行が回復基調に入っていることから、本年 7 月には反動が生じ増加幅が拡大した。

参考： 7 月の訪日客数（年別で多い順、2010 年は第 4 位）

2007 年：10,230 人、2008 年：10,067 人、2005 年：10,004 人、2010 年：9,800 人

参考： 1 月～7 月の訪日客数（年別で多い順、2010 年は第 3 位）

2008 年：72,431 人、2007 年：68,037 人、2010 年：67,900 人

[要因]

- 本年 6 月、ドイツ系航空会社が日独航空路線で大型機材を導入した。また、本年 7 月、日系航空会社が日独航空路線で新規就航した。航空座席供給量の大幅増により、座席が確保しやすくなっている。また、航空券価格が割安になっていることから、低価格ツアーが出現している。

注： 日独間の航空便の拡大

成田⇄フランクフルト 2010 年 6 月 11 日以降、航空機材を大型化（エアバス A380 を導入）

この結果、1 機当たりの座席数が 352 席から 526 席に増加（ルフトハンザ航空）

成田⇄ミュンヘン 2010 年 7 月 1 日、週 7 便で新規就航（全日空）

- ユーロ安によりドイツからの輸出が伸びており、景気が好調になっている。これにより、訪日商用旅行の需要が拡大しているものと見られる。

注： ドイツ連邦統計局によると、2010 年 5 月の輸出額は前月比 28.3%増となった。3 か月連続の二桁増を記録した。

注： ドイツ連邦統計局によると、2010 年第 2 四半期の実質 GDP は、前期比 2.2%増を記録した。この伸率は、東西ドイツ統合以来で最大となった。

- ビジット・ジャパン・キャンペーンの一環として、昨年 12 月から本年 2 月に、JNTO ドイツ語版ウェブサイトを通じて訪日旅行の懸賞付きアンケート・キャンペーンを実施した。また、これに併せて、新聞、雑誌などを通じて広告を展開した。更に、本年 1 月には、ドイツの複数の都市の地下鉄駅構内で、訪日旅行を宣伝するための画面広告を展開した。これにより、訪日旅行需要が喚起されたと考えられる。
- 本年 4 月のアイスランド火山噴火の影響で、当時訪日旅行を取り消し、予定を変更した人々の需要の一部が 7 月にあった。
- 一方、ギリシャが財政危機に陥った影響で、5 月に円高ユーロ安が急進し、6 月、

7月にも円の高止まりが継続した。7月の月間平均レートは1ユーロ=111.8円で、4月と比べて13.8円高、前年同月(2009年7月)と比べて21.2円高を記録した。消費者が旅行地として日本を選択する上で不利な状況となっている。

2010年5月 国・地域別 / 目的別 訪日外客数 (暫定値)

Visitor Arrivals by Country/Area & Purpose of Visit for May 2010 (provisional figures)

作成: 日本政府観光局(JNTO) / Compilation: Japan National Tourism Organization

国・地域	Country/Area	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
		2009年 5月 May	2010年 5月 May	伸率 %	2009年 5月 May	2010年 5月 May	伸率 %	2009年 5月 May	2010年 5月 May	伸率 %	2009年 5月 May	2010年 5月 May	伸率 %
総数	Grand Total	485,713	721,348	48.5	334,957	536,880	60.3	88,064	119,961	36.2	62,692	64,507	2.9
アジア	Asia Total	331,379	545,016	64.5	232,718	422,766	81.7	50,706	72,159	42.3	47,955	50,091	4.5
韓国	South Korea	117,897	201,484	70.9	86,569	164,368	89.9	20,712	26,345	27.2	10,616	10,771	1.5
台湾	Taiwan	70,297	114,168	62.4	62,626	104,179	66.4	5,609	7,691	37.1	2,062	2,298	11.4
中国	China	60,530	112,558	86.0	23,575	65,919	179.6	11,986	20,214	68.6	24,969	26,425	5.8
香港	Hong Kong	27,769	40,864	47.2	25,744	37,954	47.4	1,775	2,626	47.9	250	284	13.6
タイ	Thailand	14,046	17,014	21.1	11,221	13,406	19.5	1,720	2,450	42.4	1,105	1,158	4.8
シンガポール	Singapore	9,339	15,041	61.1	7,662	12,644	65.0	1,464	2,165	47.9	213	232	8.9
マレーシア	Malaysia	5,563	10,252	84.3	3,555	7,231	103.4	1,488	2,435	63.6	520	586	12.7
フィリピン	Philippines	6,743	8,546	26.7	3,661	5,257	43.6	1,043	1,322	26.7	2,039	1,967	-3.5
インドネシア	Indonesia	3,504	5,109	45.8	2,112	2,975	40.9	646	1,057	63.6	746	1,077	44.4
インド	India	5,618	7,942	41.4	2,146	3,684	71.7	1,731	2,566	48.2	1,741	1,692	-2.8
ベトナム	Vietnam	2,402	3,086	28.5	618	950	53.7	497	792	59.4	1,287	1,344	4.4
イスラエル	Israel	908	884	-2.6	477	456	-4.4	388	390	0.5	43	38	-11.6
その他アジア	Asia Unclassified	6,763	8,068	19.3	2,752	3,743	36.0	1,647	2,106	27.9	2,364	2,219	-6.1
ヨーロッパ	Europe Total	63,872	71,791	12.4	40,021	42,853	7.1	17,593	22,744	29.3	6,258	6,194	-1.0
英国	United Kingdom	13,286	14,969	12.7	8,094	8,189	1.2	3,922	5,320	35.6	1,270	1,460	15.0
フランス	France	13,041	13,699	5.0	8,974	8,851	-1.4	2,646	3,560	34.5	1,421	1,288	-9.4
ドイツ	Germany	9,076	10,944	20.6	4,782	5,462	14.2	3,625	4,612	27.2	669	870	30.0
イタリア	Italy	4,808	5,138	6.9	3,326	3,393	2.0	1,206	1,482	22.9	276	263	-4.7
ロシア	Russia	3,666	4,238	15.6	2,086	2,551	22.3	826	1,094	32.4	754	593	-21.4
スペイン	Spain	2,630	3,166	20.4	2,139	2,500	16.9	342	519	51.8	149	147	-1.3
オランダ	Netherlands	2,386	3,013	26.3	1,391	1,960	40.9	855	946	10.6	140	107	-23.6
スウェーデン	Sweden	1,984	2,437	22.8	1,027	1,252	21.9	813	1,035	27.3	144	150	4.2
スイス	Switzerland	1,887	2,207	17.0	1,275	1,496	17.3	481	583	21.2	131	128	-2.3
フィンランド	Finland	1,471	1,347	-8.4	1,047	884	-15.6	372	395	6.2	52	68	30.8
ベルギー	Belgium	1,154	1,341	16.2	674	742	10.1	406	524	29.1	74	75	1.4
オーストリア	Austria	1,092	1,324	21.2	689	777	12.8	309	361	16.8	94	186	97.9
デンマーク	Denmark	1,006	1,183	17.6	520	636	22.3	354	497	40.4	132	50	-62.1
アイルランド	Ireland	722	873	20.9	398	415	4.3	231	344	48.9	93	114	22.6
ノルウェー	Norway	763	651	-14.7	460	358	-22.2	274	264	-3.6	29	29	0.0
ポルトガル	Portugal	610	711	16.6	488	568	16.4	91	120	31.9	31	23	-25.8
その他ヨーロッパ	Europe Unclassified	4,290	4,550	6.1	2,651	2,819	6.3	840	1,088	29.5	799	643	-19.5
アフリカ	Africa Total	1,500	1,769	17.9	501	565	12.8	442	610	38.0	557	594	6.6
北アメリカ	North America Total	71,742	82,085	14.4	49,568	55,976	12.9	16,130	20,278	25.7	6,044	5,831	-3.5
米国	U.S.A.	58,595	65,559	11.9	39,191	42,752	9.1	14,513	18,089	24.6	4,891	4,718	-3.5
カナダ	Canada	12,184	14,394	18.1	9,753	11,684	19.8	1,484	1,842	24.1	947	868	-8.3
メキシコ	Mexico	586	1,686	187.7	455	1,309	187.7	62	233	275.8	69	144	108.7
その他北アメリカ	North America Unclassified	377	446	18.3	169	231	36.7	71	114	60.6	137	101	-26.3
南アメリカ	South America Total	2,844	3,326	16.9	1,771	1,999	12.9	552	812	47.1	521	515	-1.2
ブラジル	Brazil	1,343	1,604	19.4	772	834	8.0	311	493	58.5	260	277	6.5
その他南アメリカ	South America Unclassified	1,501	1,722	14.7	999	1,165	16.6	241	319	32.4	261	238	-8.8
オセアニア	Oceania Total	14,343	17,312	20.7	10,350	12,686	22.6	2,641	3,353	27.0	1,352	1,273	-5.8
豪州	Australia	11,995	14,621	21.9	8,908	10,990	23.4	2,139	2,738	28.0	948	893	-5.8
ニュージーランド	New Zealand	2,063	2,457	19.1	1,375	1,609	17.0	425	566	33.2	263	282	7.2
その他オセアニア	Oceania Unclassified	285	234	-17.9	67	87	29.9	77	49	-36.4	141	98	-30.5
無国籍・その他	Stateless	33	49	48.5	28	35	25.0	0	5	****	5	9	80.0

◆注1: 「訪日外客」とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から日本に永住する外国人を除き、これに、日本を経由して第三国へ向かうため日本に一時的に入国した通過客(一時上陸客)を加えた入国外国人旅行者のことである。「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

◆注2: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆Note: If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

2010年1月～5月 国・地域別 / 目的別 訪日外客数 (暫定値)

Visitor Arrivals by Country/Area & Purpose of Visit for Jan.-May 2010 (provisional figures)

作成: 日本政府観光局(JNTO) / Compilation: Japan National Tourism Organization

国・地域	Country/Area	総数 Total			観光客 Tourism			商用客 Business			その他客 Others		
		2009年 1月～5月	2010年 1月～5月	伸率 %	2009年 1月～5月	2010年 1月～5月	伸率 %	2009年 1月～5月	2010年 1月～5月	伸率 %	2009年 1月～5月	2010年 1月～5月	伸率 %
		Jan.-May	Jan.-May	Change	Jan.-May	Jan.-May	Change	Jan.-May	Jan.-May	Change	Jan.-May	Jan.-May	Change
総数	Grand Total	2,669,913	3,524,572	32.0	1,819,635	2,574,908	41.5	468,521	557,654	19.0	381,757	392,010	2.7
アジア	Asia Total	1,879,841	2,670,006	42.0	1,300,933	2,015,588	54.9	278,576	343,741	23.4	300,332	310,677	3.4
韓国	South Korea	576,245	990,198	71.8	399,936	787,669	96.9	112,121	136,730	21.9	64,188	65,799	2.5
台湾	Taiwan	393,230	508,637	29.3	347,318	455,389	31.1	30,952	37,145	20.0	14,960	16,103	7.6
中国	China	441,540	600,274	36.0	209,514	344,058	64.2	69,664	89,213	28.1	162,362	167,003	2.9
香港	Hong Kong	171,927	206,585	20.2	159,109	192,181	20.8	10,820	12,297	13.7	1,998	2,107	5.5
タイ	Thailand	86,407	101,996	18.0	69,258	82,608	19.3	9,854	11,481	16.5	7,295	7,907	8.4
シンガポール	Singapore	44,973	59,695	32.7	35,780	47,984	34.1	8,054	10,492	30.3	1,139	1,219	7.0
マレーシア	Malaysia	34,302	46,496	35.5	22,255	32,438	45.8	8,075	9,879	22.3	3,972	4,179	5.2
フィリピン	Philippines	33,076	36,065	9.0	17,570	19,858	13.0	5,327	6,019	13.0	10,179	10,188	0.1
インドネシア	Indonesia	18,033	25,362	40.6	9,870	15,040	52.4	3,430	4,648	35.5	4,733	5,674	19.9
インド	India	24,281	28,566	17.6	8,340	9,406	12.8	8,265	11,572	40.0	7,676	7,588	-1.1
ベトナム	Vietnam	13,993	17,081	22.1	3,817	5,135	34.5	2,645	3,256	23.1	7,531	8,690	15.4
イスラエル	Israel	5,111	6,428	25.8	2,999	4,237	41.3	1,869	1,933	3.4	243	258	6.2
その他アジア	Asia Unclassified	36,723	42,623	16.1	15,167	19,585	29.1	7,500	9,076	21.0	14,056	13,962	-0.7
ヨーロッパ	Europe Total	323,129	342,477	6.0	201,530	211,788	5.1	88,537	97,538	10.2	33,062	33,151	0.3
英国	United Kingdom	77,230	79,088	2.4	49,477	49,031	-0.9	19,872	22,122	11.3	7,881	7,935	0.7
フランス	France	58,913	61,333	4.1	39,562	40,251	1.7	13,046	15,000	15.0	6,305	6,082	-3.5
ドイツ	Germany	46,293	49,473	6.9	23,961	25,063	4.6	18,355	20,405	11.2	3,977	4,005	0.7
イタリア	Italy	20,628	23,769	15.2	13,013	15,590	19.8	5,996	6,497	8.4	1,619	1,682	3.9
ロシア	Russia	18,510	20,306	9.7	11,542	12,520	8.5	4,008	4,823	20.3	2,960	2,963	0.1
スペイン	Spain	13,221	13,919	5.3	10,139	10,781	6.3	1,980	2,197	11.0	1,102	941	-14.6
オランダ	Netherlands	12,405	13,140	5.9	7,087	7,964	12.4	4,408	4,546	3.1	910	630	-30.8
スウェーデン	Sweden	11,048	12,571	13.8	5,968	7,204	20.7	4,136	4,267	3.2	944	1,100	16.5
スイス	Switzerland	9,364	10,429	11.4	6,436	7,385	14.7	2,389	2,494	4.4	539	550	2.0
フィンランド	Finland	7,925	7,098	-10.4	5,803	5,004	-13.8	1,732	1,648	-4.8	390	446	14.4
ベルギー	Belgium	5,676	6,287	10.8	3,226	3,463	7.3	2,010	2,358	17.3	440	466	5.9
オーストリア	Austria	5,436	5,739	5.6	3,219	3,408	5.9	1,538	1,655	7.6	679	676	-0.4
デンマーク	Denmark	5,484	5,992	9.3	3,180	3,545	11.5	1,967	2,117	7.6	337	330	-2.1
アイルランド	Ireland	4,268	4,323	1.3	2,380	2,308	-3.0	1,267	1,441	13.7	621	574	-7.6
ノルウェー	Norway	4,509	4,229	-6.2	2,873	2,667	-7.2	1,424	1,236	-13.2	212	326	53.8
ポルトガル	Portugal	3,120	3,697	18.5	2,535	3,096	22.1	412	444	7.8	173	157	-9.2
その他ヨーロッパ	Europe Unclassified	19,099	21,084	10.4	11,129	12,508	12.4	3,997	4,288	7.3	3,973	4,288	7.9
アフリカ	Africa Total	7,790	8,446	8.4	2,385	2,530	6.1	2,394	2,675	11.7	3,011	3,241	7.6
北アメリカ	North America Total	342,618	373,470	9.0	224,530	243,498	8.4	83,578	96,047	14.9	34,510	33,925	-1.7
米国	U.S.A.	271,367	296,279	9.2	168,835	183,097	8.4	74,783	85,836	14.8	27,749	27,346	-1.5
カナダ	Canada	63,614	67,467	6.1	50,641	54,055	6.7	7,530	8,359	11.0	5,443	5,053	-7.2
メキシコ	Mexico	5,442	7,404	36.1	4,152	5,390	29.8	736	1,259	71.1	554	755	36.3
その他北アメリカ	North America Unclassified	2,195	2,320	5.7	902	956	6.0	529	593	12.1	764	771	0.9
南アメリカ	South America Total	12,547	15,072	20.1	7,218	8,966	24.2	2,423	3,050	25.9	2,906	3,056	5.2
ブラジル	Brazil	6,191	8,031	29.7	3,450	4,680	35.7	1,325	1,838	38.7	1,416	1,513	6.9
その他南アメリカ	South America Unclassified	6,356	7,041	10.8	3,768	4,286	13.7	1,098	1,212	10.4	1,490	1,543	3.6
オセアニア	Oceania Total	103,701	114,809	10.7	82,805	92,318	11.5	12,997	14,580	12.2	7,899	7,911	0.2
豪州	Australia	90,040	101,012	12.2	73,640	83,260	13.1	10,769	12,043	11.8	5,631	5,709	1.4
ニュージーランド	New Zealand	12,383	12,682	2.4	8,614	8,672	0.7	2,029	2,295	13.1	1,740	1,715	-1.4
その他オセアニア	Oceania Unclassified	1,278	1,115	-12.8	551	386	-29.9	199	242	21.6	528	487	-7.8
無国籍・その他	Stateless	287	292	1.7	234	220	-6.0	16	23	43.8	37	49	32.4

◆注1: 「訪日外客」とは、国籍に基づく法務省集計による外国人正規入国者から日本に永住する外国人を除き、これに、日本を経由して第三国へ向かうため日本に一時的に入国した通過客(一時上陸客)を加えた入国外国人旅行者のことである。「観光客」とは、短期滞在の入国者から「商用客」を引いた入国外国人で、親族友人訪問を含んでいる。「その他客」とは、観光、商用目的を除く入国外国人で、留学、研修、外交・公用などが含まれる。

◆注2: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆Note: If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

2010年 年齢層 / 性別 出国日本人数

Japanese Overseas Travelers by Age and Gender for 2010

	1月	伸率	2月	伸率	3月	伸率	4月	伸率	5月	伸率	6月	伸率	7月	伸率	8月	伸率	9月	伸率	10月	伸率	11月	伸率	12月	伸率	累計	伸率	構成比
	Jan.	Chg %	Feb.	Chg %	Mar.	Chg %	Apr.	Chg %	May	Chg %	June	Chg %	July	Chg %	Aug.	Chg %	Sept.	Chg %	Oct.	Chg %	Nov.	Chg %	Dec.	Chg %	Cumulative	Chg %	Share %
総数 (Total)	1,264,299	7.8	1,289,825	-5.1	1,563,113	10.2	1,212,959	0.9	1,262,453	21.8															6,592,649	6.5	100.00
男性 (Male)	701,815	11.7	678,099	-4.4	822,533	11.9	686,726	7.2	707,363	29.3															3,596,536	10.3	54.55
0~4	9,760	-8.2	7,870	8.7	8,811	4.5	9,697	-5.8	8,811	8.6															44,949	0.6	0.68
5~9	11,305	-9.6	6,614	7.4	14,088	1.4	10,285	-8.8	6,140	-15.5															48,432	-5.2	0.73
10~14	9,902	-5.5	4,740	7.8	20,330	9.1	8,537	-11.7	4,030	-21.8															47,539	-1.6	0.72
15~19	10,331	-18.4	11,586	0.3	32,441	8.7	6,281	-6.7	6,156	83.1															66,795	4.1	1.01
20~24	22,315	-0.9	58,892	-9.5	67,459	-4.3	11,810	-8.5	14,243	26.9															174,719	-4.1	2.65
25~29	42,718	3.2	50,057	-8.4	54,747	1.5	41,649	-2.4	46,776	21.6															235,947	-2.1	3.58
30~34	62,879	6.6	58,977	-6.6	62,420	9.5	62,755	3.3	65,976	27.8															313,007	7.4	4.75
35~39	79,841	10.5	70,281	-6.0	79,350	12.5	78,843	9.0	81,276	35.2															389,591	11.3	5.91
40~44	83,318	14.0	71,979	-3.5	86,279	14.8	81,554	12.0	82,500	37.7															405,630	14.1	6.15
45~49	81,900	18.5	71,090	0.9	89,112	19.5	81,234	18.1	82,450	44.7															405,786	19.4	6.16
50~54	71,413	15.6	63,691	-2.8	76,481	16.2	69,668	14.6	72,374	38.1															353,627	15.4	5.36
55~59	65,148	9.2	59,361	-9.8	67,618	9.0	64,679	5.0	66,127	21.7															322,933	6.4	4.90
60~64	73,669	21.3	69,312	-1.1	77,118	20.6	76,403	9.8	78,053	24.9															374,555	14.6	5.68
65~69	41,515	18.5	39,981	-6.7	44,446	17.2	44,175	1.9	47,238	16.6															217,355	8.9	3.30
70~	35,801	30.6	33,668	1.6	41,833	27.4	39,156	5.2	45,213	29.1															195,671	18.1	2.97
不詳 (Unknown)	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-															0	-	0.00
女性 (Female)	562,484	3.4	611,726	-5.9	740,580	8.3	526,233	-6.2	555,090	13.4															2,996,113	2.3	45.45
0~4	9,211	-11.6	7,611	8.8	8,413	3.5	9,413	-5.8	8,550	4.9															43,198	-1.1	0.66
5~9	11,121	-7.4	6,413	3.2	13,848	3.3	9,928	-9.0	6,043	-13.3															47,353	-4.4	0.72
10~14	9,702	-7.6	4,588	5.7	20,776	10.0	8,806	-10.9	4,443	-21.6															48,315	-2.0	0.73
15~19	14,068	-10.6	17,863	3.0	50,897	10.2	9,108	-11.0	7,956	49.2															99,892	5.4	1.52
20~24	53,220	1.9	135,710	-4.5	127,557	5.1	25,783	-11.7	28,657	13.9															370,927	0.2	5.63
25~29	70,814	0.2	77,461	-9.4	73,249	1.7	62,596	-7.9	69,817	11.3															353,937	-1.4	5.37
30~34	65,235	-2.7	61,223	-10.7	59,187	2.3	60,246	-8.2	61,191	7.0															307,082	-2.9	4.66
35~39	57,580	-0.8	48,220	-9.1	54,066	5.2	51,008	-7.4	50,044	6.8															260,918	-1.3	3.96
40~44	43,409	1.5	35,092	-6.6	49,458	8.6	39,010	-5.3	37,056	10.1															204,025	1.6	3.09
45~49	36,707	5.4	32,579	-6.4	49,763	9.8	34,822	-3.2	34,511	15.5															188,382	4.2	2.86
50~54	37,514	3.1	36,656	-11.8	48,644	6.2	37,090	-6.7	39,830	11.3															199,734	0.3	3.03
55~59	42,961	3.4	41,944	-12.1	49,426	5.3	46,613	-9.2	51,097	9.9															232,041	-0.8	3.52
60~64	52,286	21.2	50,024	1.9	59,174	22.9	60,544	0.8	69,084	23.1															291,112	13.4	4.42
65~69	31,850	18.0	30,257	-2.6	38,910	17.7	37,895	-6.3	45,939	20.6															184,851	9.0	2.80
70~	26,806	22.5	26,085	7.7	37,212	24.0	33,371	0.6	40,872	30.3															164,346	16.8	2.49
不詳 (Unknown)	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-															0	-	0.00

◆注：本資料を引用される際は、作成名・出典名の両方を明示してください。

◆Note: If reproduced, your credit line to the compiler and source is mandatory.

作成：日本政府観光局(JNTO) / 出典：法務省

Compilation: Japan National Tourism Organization; Source: Ministry of Justice

2005年～2009年 各国・地域別 日本人訪問者数（日本から各国・地域への到着者数）

Japanese Overseas Travelers by Destination (Visitor Arrivals from Japan) from 2005 to 2009

	訪問先	Destination	基準	2005年	Chg.%	2006年	Chg.%	2007年	Chg.%	2008年	Chg.%	2009年	Chg.%
ア	中国	China	N F V	3,389,976	1.7	3,745,881	10.5	3,977,479	6.2	3,446,117	-13.4	3,317,500	-3.7
	韓国	South Korea	N F V	2,440,139	-0.1	2,338,921	-4.1	2,235,963	-4.4	2,378,102	6.4	3,053,311	28.4
	香港	Hong Kong	R F V	1,210,848	7.5	1,311,111	8.3	1,324,336	1.0	1,324,797	0.0	1,204,490	-9.1
	タイ	Thailand	N F T	1,196,654	-1.3	1,311,987	9.6	1,277,638	-2.6	1,153,868	-9.7	1,004,453	-12.9
	台湾	Taiwan	R F V	1,124,334	26.7	1,161,489	3.3	1,166,380	0.4	1,086,691	-6.8	1,000,661	-7.9
	インドネシア	Indonesia	R F T	517,879	-15.9	419,213	-19.1	508,820	21.4	546,713	7.4		
	シンガポール	Singapore	R F V	588,535	-1.7	594,406	1.0	594,514	0.0	571,040	-3.9	489,940	-14.2
	マレーシア	Malaysia	R F T	340,027	12.8	354,213	4.2	367,567	3.8	433,462	17.9	395,746	-8.7
	マカオ	Macau	R F V	169,115	38.4	220,190	30.2	299,403	36.0	366,920	22.6	379,241	3.4
	ベトナム	Vietnam	R F V	320,605	20.0	383,896	19.7	417,291	8.7	392,999	-5.8	359,231	-8.6
	フィリピン	Philippines	R F T	415,456	8.7	421,808	1.5	395,012	-6.4	359,306	-9.0	324,980	-9.6
	カンボジア	Cambodia	R F V	137,849	16.7	158,353	14.9	161,973	2.3	163,806	1.1	146,286	-10.7
	インド	India	N F T	103,082	6.4	119,292	15.7	145,538	22.0	145,352	-0.1	124,219	-14.5
	モルジブ	Maldives	N F T	23,269	-50.4	39,528	69.9	41,121	4.0	38,193	-7.1	36,641	-4.1
	ラオス	Laos	N F V	22,601	11.2	23,147	2.4	29,770	28.6	31,569	6.0	28,081	-11.0
	ネパール	Nepal	N F T	18,239	-24.7	22,242	21.9	27,058	21.7	23,383	-13.6	22,189	-5.1
	ミャンマー	Myanmar	N F T	19,584	-3.5	18,945	-3.3	15,623	-17.5	10,881	-30.4	13,809	26.9
	モンゴル	Mongolia	N F V	13,230	0.3	16,909	27.8	17,307	2.4	15,036	-13.1	11,496	-23.5
	スリランカ	Sri Lanka	R F T	17,148	-12.7	16,189	-5.6	14,274	-11.8	10,075	-29.4	10,926	8.4
パキスタン	Pakistan	N F T	14,136	5.2	14,343	1.5	11,025	-23.1	8,294	-24.8	6,705	-19.2	
バングラデシュ	Bangladesh	N F T	6,269	-20.2	4,370	-30.3	5,851	33.9					
ブルネイ	Brunei	N F V	1,607	-19.7	3,319	106.5	4,154	25.2	4,489	8.1			
オセアニア	グアム	Guam	R F T	955,245	5.4	952,687	-0.3	931,079	-2.3	850,034	-8.7	825,129	-2.9
	豪州	Australia	R F V	685,335	-3.5	651,070	-5.0	573,045	-12.0	457,232	-20.2	355,458	-22.3
	北マリアナ諸島	Northern Mariana Islands	N F V	351,739	-8.1	269,780	-23.3	200,168	-25.8	213,299	6.6	191,111	-10.4
	ニュージーランド	New Zealand	R F V	154,925	-6.1	136,401	-12.0	121,652	-10.8	102,482	-15.8	78,426	-23.5
	パラオ	Palau	R F V	26,281	10.2	26,892	2.3	29,198	8.6	30,018	2.8	26,688	-11.1
	ニューカレドニア	New Caledonia	R F T	31,486	7.7	29,833	-5.2	26,755	-10.3	20,225	-24.4	18,926	-6.4
	タヒチ	Tahiti	R F T	21,986	-7.0	21,739	-1.1	23,240	6.9	18,769	-19.2	16,353	-12.9
	フィジー	Fiji	R F T	27,380	12.2	24,369	-11.0	22,719	-6.8	21,639	-4.8	14,745	-31.9
	トルコ	Turkey	N F V	116,969	81.9	125,755	7.5	168,852	34.3	149,731	-11.3	147,641	-1.4
	エジプト	Egypt	N F V	74,446	5.5	87,939	18.1	129,590	47.4	108,225	-16.5		
中央アジア	アラブ首長国連邦	U.A.E.	N H A T	N.A.	-	N.A.	-	N.A.	-	N.A.	-		
	バーレーン	Bahrain	N F V	14,158	11.1	17,050	20.4	17,979	5.4				
	モロッコ	Morocco	N F T	17,044	8.4	18,255	7.1	16,902	-7.4	15,607	-7.7		
	サウジアラビア	Saudi Arabia	N F T	10,214	91.2	9,850	-3.6	12,438	26.3	14,590	17.3		
	ヨルダン	Jordan	N F V	9,418	6.0	10,551	12.0	12,532	18.8	13,492	7.7	12,752	-5.5
	チュニジア	Tunisia	N F T	9,433	32.7	10,847	15.0	11,414	5.2	11,206	-1.8		
	アルメニア	Armenia	R F T	7,681	37.5	8,125	5.8	10,150	24.9	11,110	9.5		
	イスラエル	Israel	R F T	8,329	34.3	9,424	13.1	10,676	13.3	14,506	35.9	9,800	-32.4
	オマーン	Oman	N H A T	7,350	1.0	6,796	-7.5	7,341	8.0	9,380	27.8		
	シリア	Syria	N F V	6,715	16.8	5,841	-13.0	6,958	19.1	8,325	19.6		
クウェート	Kuwait	N F V	8,449	-4.3	7,211	-14.7	6,551	-9.2	6,215	-5.1			
カザフスタン	Kazakhstan	R F V	3,171	18.3	4,222	33.1	5,223	23.7	5,013	-4.0			
アフリカ	ナイジェリア	Nigeria	N F V	12,428	5.0	13,671	10.0	23,475	71.7	26,087	11.1		
	南アフリカ共和国	South Africa	R F T	27,284	18.2	31,989	17.2	31,855	-0.4	27,621	-13.3	24,655	-10.7
	ジンバブエ	Zimbabwe	R F V	10,481	-39.8	12,124	15.7	12,949	6.8	14,803	14.3		
	ケニア	Kenya	R F V	N.A.	-	14,655	-	12,728	-13.1	7,411	-41.8	10,150	37.0
	マダガスカル	Madagascar	N F T	5,952	73.4	6,697	12.5	7,397	10.5	7,500	1.4		
	フランス	France	R F T	666,000	-5.4	696,000	4.5	698,000	0.3	674,000	-3.4		
	ドイツ	Germany	R A A T	730,232	2.1	759,899	4.1	661,792	-12.9	597,655	-9.7	537,984	-10.0
	イタリア	Italy	N F T	281,278	-8.9	323,451	15.0	320,681	-0.9	283,819	-11.5		
	スイス	Switzerland	R H A T	335,199	-	347,299	3.6	324,554	-6.5	277,657	-14.4	275,505	-0.8
	英国	U.K.	R F V	332,000	-4.3	341,932	3.0	307,633	-10.0	238,910	-22.3	233,000	-2.5
ヨーロッパ	スペイン	Spain	R F T	181,052	20.2	255,309	41.0	346,047	35.5	237,493	-31.4	228,574	-3.8
	オーストリア	Austria	R A A T	278,686	8.6	267,909	-3.9	229,347	-14.4	208,150	-9.2	198,751	-4.5
	クロアチア	Croatia	R A A T	32,748	42.8	64,751	97.7	86,404	33.4	143,704	66.3		
	チェコ	Czech Republic	N A A T	153,980	25.6	145,804	-5.3	136,587	-6.3	123,275	-9.7	114,777	-6.9
	ベルギー	Belgium	R A A T	111,985	-11.5	110,076	-1.7	109,902	-0.2	100,712	-8.4		
	オランダ	Netherlands	R H A T	156,900	-4.2	141,700	-9.7	128,800	-9.1	114,400	-11.2	99,300	-13.2
	スウェーデン	Sweden	R A N T	114,935	-2.7	112,313	-2.3	103,719	-7.7	100,991	-2.6	92,316	-8.6
	ハンガリー	Hungary	N A A T	112,127	26.6	102,168	-8.9	94,894	-7.1	75,261	-20.7		
	ロシア	Russia	N F V	87,642	-5.1	97,648	11.4	83,621	-14.4	86,237	3.1	74,159	-14.0
	フィンランド	Finland	R A A T	70,434	-0.4	78,940	12.1	82,473	4.5	80,180	-2.8	65,925	-17.8
ヨーロッパ	ポルトガル	Portugal	R A A T	99,686	-16.4	76,821	-22.9	70,248	-8.6	65,600	-6.6		
	スロベニア	Slovenia	N A A T	12,152	35.2	19,880	63.6	24,506	23.3	38,795	58.3	47,128	21.5
	ポーランド	Poland	N F V	39,457	21.4	40,926	3.7	47,532	16.1	42,000	-11.6		
	ノルウェー	Norway	N F T	41,000	17.1	37,000	-9.8	32,000	-13.5	30,000	-6.3		
	デンマーク	Denmark	R A A T	39,963	0.8	33,762	-15.5	30,780	-8.8	29,458	-4.3		
	ルーマニア	Romania	R F V	13,736	5.5	14,185	3.3	15,512	9.4	13,095	-15.6		
	アイスランド	Iceland	N A A T	13,855	31.7	12,704	-8.3	10,797	-15.0	11,205	3.8	11,991	7.0
	スロバキア	Slovakia	N A A T	14,321	34.5	15,878	10.9	13,496	-15.0	13,743	1.8	11,351	-17.4
	アイルランド	Ireland	R F T	19,000	-38.7	19,000	0.0	16,000	-15.8	14,000	-12.5	11,000	-21.4
	ギリシャ	Greece	N F T	45,609	-18.3	50,525	10.8	28,779	-43.0	10,926	-62.0		
ヨーロッパ	ブルガリア	Bulgaria	R F V	11,273	16.4	11,833	5.0	12,154	2.7	9,830	-19.1	8,458	-14.0
	リトアニア	Lithuania	R A A T	8,936	-2.5	8,833	-1.2	9,105	3.1	9,349	2.7	7,599	-18.7
	エストニア	Estonia	R A A T	8,066	9.6	8,093	0.3	6,799	-16.0	6,862	0.9	7,253	5.7
	ラトビア	Latvia	R A A T	5,732	1.0	5,249	-8.4	6,065	15.5	6,043	-0.4		
	ウクライナ	Ukraine	R F T	5,295	17.5	6,833	29.0	6,903	1.0	6,437	-6.8	5,439	-15.5
	モナコ	Monaco	N H A T	7,674	-13.6	6,370	-17.0	6,444	1.2	6,017	-6.6	5,124	-14.8
	米国	U.S.A.	R F T	3,883,906	3.6	3,672,584	-5.4	3,531,489	-3.8	3,249,578	-8.0	2,918,268	-10.2
	（ハワイ州）	(Hawaii)	R F T	1,517,439	2.4	1,362,878	-10.2	1,296,421	-4.9	1,175,198	-9.4	1,117,159	-4.9
	カナダ	Canada	R F V	441,783	1.1	401,127	-9.2	343,451	-14.4	287,198	-16.4	206,000	-28.3
	中米	ブラジル	Brazil	R F T	68,066	11.9	74,638	9.7	63,381	-15.1	81,270	28.2	66,655
メキシコ		Mexico	N F T	65,788	-	68,981	4.9	71,857	4.2	69,797	-2.9	52,293	-25.1
ペルー		Peru	R F T	35,522	19.1	36,827	3.7	39,864	8.2	46,059	15.5		
アルゼンチン		Argentina	N F T	16,678	6.7	19,273	15.6						
チリ		Chile	N F T	13,882	-3.2	13,230	-4.7	14,674	10.9	15,553	6.0	12,649	-18.7
ボリビア													